

カンボジア 工場労働者のための子宮頸がんを入口とした 女性のヘルスケア向上プロジェクト

Newsletter from SCGO-JSOG Project on Women's Health and Cervical Cancer

No. 24 November 2017

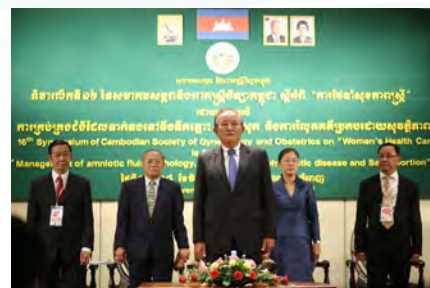
第 16 回 カンボジア産婦人科学会年次学術総会開催

11月17-18日に、カンボジア産婦人科学会主催の「第16回カンボジア産婦人科学会年次総会」が、保健省エンホット事務次官ご臨席のもと、プノンペンにて開催されました。

サンチャンスン理事が大会長を務め、今年のテーマは「羊水の異常/絨毛性疾患管理/安全な中絶」でした。

カンボジア産婦人科学会の試みとして、前回から学会参加費を徴収することを始めましたが、学会員や保健省、NGO、学生等260人が参加しました。10月に行われましたSCGO活動のPRも兼ねた地方でのContinuing Medical Education (CME)プログラムが功をなし、多くの地方在住の会員が参加しました。

二日目は、日本産科婦人科学会から名古屋大学の山本英子先生が、「絨毛性疾患の臨床管理」について講演しました。講演後に活発な質疑応答が行われ、学会最後にはカンボジアの資源で実施可能な管理プロトコルを学会として作るという方針が出されました。



名古屋大学医療行政学
山本英子

2017年11月18日にSCGO 16th Annual Conferenceにおいて「Clinical management of trophoblastic diseases」の演題で、絨毛性疾患の診断とフォローを中心に解説し、医療サービスが限られたカンボジアでも可能な診断法、hCG フォロー、患者登録などを提示しました。会場からは、「胎状奇胎で子宮摘出がよいのか」、「フォロー中の妊娠は?」、「胎児共存奇胎は?」、「胎状奇胎登録はいい案だ」など、議論も活発に行われました。SCGO 会長のカナル先生に許可を頂き、学術総会に参加されたSCGO 学会員を対象にアンケートを行い143名より回答を頂きました。勤務先は中央病院29名、省立病院43名、郡病院20名、ヘルスセンター(HC)6名、その他43名(無回答2名)でした。分娩と流産はHC以上の施設で、胎状奇胎は郡病院以上の施設で行われていました。妊娠反応検査はいずれの施設でも可能ようですが、hCG測定は中央病院や私立病院のいくつかに限られます。参加者の胎状奇胎経験は勤務先により中央病院85.7%→省立病院48.8%→郡病院15.0%と低下していました。

11月20日にはクメールソビエト病院を見学させて頂きました。抗がん剤治療が可能な中央病院で、7年間で107名の絨毛性疾患患者をまとめ、学会でも報告されていました。見直し中である胎状奇胎の治療指針や、絨毛癌の大量出血への対応や臨床診断を用いていないことなどの問題点について意見交換を行いました。

今回の派遣にあたり、藤田則子先生、木村正教授、事務局の野中さんなど多くの方に感謝いたします。カンボジアにおける産婦人科医療がますます発展するよう願っています。



工場での健康教育事業の拡大(3企業増えて6企業に!!)

2017年8月に、カンボジアにある日系企業に、当プロジェクトの健康教育と子宮頸がん検診の案内をしたところ、新たに3社から健康教育を実施してほしいとの申し込みがありました。日系企業のカンボジア人担当者と当プロジェクトのカンボジア人担当者がやり取りをし、10月から活動対象を拡大し、新たに、2社の工場の工員、および1社の日本企業の従業員への健康教育が始まりました。

日系企業3社合わせて76名が参加しました。各企業の健康教育は、その企業の要望に基づき、「基本的な衛生」、「女性の身体や家族計画」、「妊娠中のケア」、「子宮頸がん」のテーマのうち3~4つのセッションを行いました。

また、健康教育の前後で質問表を配り(読み書きに問題がある場合は、口頭で質問)、健康教育の理解度の向上を確認しています。

また、カンボジア産婦人科学会長のカナル医師と健康教育担当スン理事が、これまで工場での健康教育の現場に赴き、健康教育の様子を見守り、質疑応答に答えてきましたが、当プロジェクトの実践部隊医師として活動してきましたクメール・ソビエト病院のルンピニ医師が、新たに健康教育チームに加わり、10月からの健康教育活動に参加しています。

プロジェクトを取り巻く動き

- | | |
|--|-------------------------------------|
| 10/7 : 健康教育実施 | 10/28 : 健康教育実施 |
| 10/14 : 健康教育実施 | 10/30 : SCGO 理事会 |
| 10/21 : 健康教育実施 | 11/17-18 : 第16回カンボジア産婦人科学会年次学術総会 |
| 10/26-11/20 : 「厚生労働省医療技術等国際展開推進事業:カンボジア子宮頸がん検診制度整備のための病理人材育成事業」の本邦研修 | 11/17-20 : 山本英子医師、藤田則子医師カンボジア派遣 |
| | 11/20 : カンボジア人プロジェクト理事および実践部隊医師合同会議 |